

第15回 日本在宅医学会大会 プログラム別 詳細情報

カテゴリー	一般演題口演
タイトル	地域における在宅医療連携の課題についてのフォーカスグループディスカッション
日時	平成25年3月30日 11:00~11:10
会場	第8会議室
座長	放送大学 田城 孝雄先生
演者	衣笠病院 黒崎 香先生
企画趣旨	<p>【目的】在宅医療連携体制を構築し、住み慣れた地域で生活することを支えるためには、連携に対する課題を抽出し、解決方法を検討する必要がある。本研究は今後アンケートや聞き取りにより、課題抽出や解決策の検討を効率的に行うための調査である。そのために、1)仮説を設定すること 2)在宅医療連携の概念を明らかにすること 3)今後行われる調査の目的や内容・対象を設計すること、4)解決策を検討することを目的とした。</p> <p>【方法】在宅医療連携に関わるフォーカスグループを作り、ディスカッションを行った。ひとりのファシリテーターがインタビューガイドに沿って半構造的に質問を用意し発言を促した。内容を録音し逐語録とし、複数の研究者がKJ法を用いて分析を行った。本研究は衣笠病院倫理委員会の承諾を得て行った。</p> <p>【結果】ディスカッションのなかで挙げられた在宅医療の課題は①病院と在宅との連携の課題②在宅での多職種連携の課題③患者や家族が抱える課題、の3つの大きなカテゴリーに分けられた。①については病院スタッフが在宅に対して知識やイメージがないこと、在宅スタッフが病院の現状を理解し難いことなどがある。②については各職種が医療と介護の連携をする上で抱える問題が挙げられた。③については家族に介護力が不足する中、支援する体制が整わない課題が挙げられた。</p> <p>【考察】在宅医療連携は、患者の療養場所の移動に関する連携の課題と、在宅で多職種が関わる課題、患者・家族の抱える課題が複雑に絡み合っていると考えられる。この結果を元にアンケート調査を行うことで、各職種がこれらの課題をどの程度感じているのかを明らかにすることができる。</p> <p>【結論】フォーカスグループディスカッションで抽出された課題について量的に検討し、ひとつひとつの課題について解決策を検討することは地域の在宅医療連携の構築に有益であると考えられた。</p>